

議会だより

発行

八幡浜市議会

編集

議会だより編集委員会

平成 21 年 5 月 1 日

vol. **16**



阿部莉子（りこ）ちゃんの雛祭り



矢野こまちちゃんの雛祭り



黒田文音（あやね）ちゃんの雛祭り

八幡浜市無形民俗文化財

真穴の座敷雛

Doll's Festival in MAANA

2009.4.2 ~ 3

3月定例会

平成21年3月八幡浜市議会定例会は、3月2日に開会し、17日間の会期で3月18日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の予算案32件、条例案9件、その他1件と、議会から8件、計50件が上程され、可決されました。

一般質問

今定例会では、6人の議員が一般質問に立ち、地区公民館、過疎法、明るく夢あるまちづくり、地場産業の育成、農業の振興、スポーツを通じたまちづくり、福祉のまちづくり、伊方原発でのプルサーマル計画の凍結・中止を、農業振興、雇用と社会保険、学校の耐震補強対策、妊婦健康診査、高橋市長の次期市長をめぐる政治姿勢、千丈川に自生するヨシの対策、環境の美化(こみのポイ捨て禁止条例の制定)、国政・定額給付金の有効活用、子どもの携帯電話利用とネットいじめについて、市長はじめ関係理事者の考え方をただしました。

その主な質問、答弁の要旨を掲載いたします。

一般質問者

二宮 雅男
上田 浩志
遠藤 素子
清水 正治
上脇 和代
新宮 康史

(発言順)

(注)掲載した順序と一般質問者発言順は一致しません。

水産業振興

生産市場である八幡浜市

場は産地間競争に勝ち残るには、消費者の信頼を得るための衛生管理型魚市場の整備が必要不可欠であると考えている。

今回の市場整備を、水産業を元気にする大きなチャンスととらえ、安心・安全な魚を全国にアピールすることが重要ではないかと思うが、いかがか。

答 食の安全・安心に関する消費者の関心は高く、産地市場においても、より高度な衛生管理が求められており、高度衛生管理型魚市場を整備しなければ、今後順次整備される衛生面を強化した他産

問

水産物の輸入量が増大する中で、近年逆に韓国や中国へ輸出する魚が増えていく。そこで、現在の仮設市場を利用して、海外へ輸出できる港としての活用を考えたもおかしくない時代だと思いが、いかがか。

答

現在、八幡浜港から直接海外への輸出を行っていないが、海外の市場に受け入れられる質の高い魚を扱っていることは現在の輸出がそれを証明しているところである。

海外への水産物の輸出について漁協に聞いたところ、

3月定例会日程

3月2日 開会宣告

市長招集挨拶

諸般の報告

会期の決定

議員辞職の件

諮問第1号、議案第4号～第40号

(提案者の説明)

3月5日 一般質問(6名)

3月6日 諮問第1号

(質疑、討論、採決)

議案第1号～第40号

(質疑、委員会付託)

3月10日 総務・民生文教・産業建設委員会開催

3月18日 議案第4号～第40号

(委員長報告、質疑、討論、採決)

議案第41号～第44号

(提案者の説明、質疑、討論、採決)

議員定数問題特別委員長報告

(質疑)

議員提出議案第1号

(提案者の説明、質疑、討論、採決)

議員提出議案第2号

(提案者の説明、質疑、討論、採決)

議員提出議案第3号

(提案者の説明、質疑、討論、採決)

八幡浜地区施設事務組合議会議員の補欠選挙

所管事務調査

議員の派遣

市長閉会挨拶

閉会宣告

実績としては主に韓国で通関業者を介せば余り問題なく行えるが、生鮮品の輸出を行う場合の一番の障壁は検疫にあるとのことであった。水産物を輸出する上でも、衛生面における管理を徹底する必要がある、衛生管理型魚市場の整備と関係者の意識向上が必須であると考えている。

議員提案の八幡浜港からの水産物の海外輸出については、仲買人組合と相談し検討したいと考えている。

農業振興

問 1月中旬、東京の大田市場を視察し、市場関係者の話を聞く機会を得た。市場関係者の話では、愛媛のみかんを高く評価されており、市場としては「良いみかん産地は残していきたい。そのため価格設定も考えていく。産地のほうでもぜひ頑張ってもらいたい。」との力強い話であった。

このとき頭をかすめたのは当市の現状であった。一部の産地を除いては、農業従事者の高齢化、後継者不

足、それに伴う放任園の増加など、問題は山積している。みかん産地として生き残っていくためにどのような対策を考えているか。

答 議員指摘のとおり、当市だけではなく全国的に農業者の高齢化や後継者不足、放任園の増加は問題となっている。自他ともに認めている「みかんのまち八幡浜」がこれからも生き残っていくために、過去から農道、モノレール、園内道など整備に力を入れてきた。これからも推進していくとともに、担い手の確保に力を入れていかなければならないと考えている。後継者の育成では、現在農林業就業促進事業として、



農業大学校、果樹研究所などを卒業後就職された方に対し、在学中に借りた研修資金の償還金の助成を行っている。

また、八幡浜市担い手育成総合支援協議会において、認定農業者を対象に研修会を開くなど、地域の担い手のリーダーとなれるよう支援を行っている。

多目的研修集会施設

問 保内町多目的研修集会所を喜須来地区公民館として使用できないか。

答 当初、保内町多目的研修集会所を喜須来地区公民館として使用できないかという話があった。種々検討を行ったが、この研修施設は国の補助事業（農業構造改善村落特別対策事業）によって建設された建物で、これを地区公民館として利用することにについては、当時の外使用に当たると判断できないという状況があり、現在JA喜須来支店2階の一室を市が借り上げ、喜須来地区公民館事務所として使用させていただいている

ところである。

これに関連して、昨年6月、国の法改正により補助事業によって取得した財産の処分基準が緩和されるという通知があった。これは国の補助対象財産であっても、地域活性化等を図る観点から財産処分するものであれば、国の承認を得て目的外使用としても利用可能となるというものである。

この認可手続によって国の承認が得られれば、保内町多目的研修集会所を喜須来地区公民館として使用できるのではないかと考えている。

認可に当たっては、クリアしなければならない要件があるので、そのあたりを



保内町多目的研修集会施設

考慮しながら対応していきたいと考えている。

スポーツ振興

問 八幡浜市スポーツ振興計画は、「生涯にわたっていつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるスポーツレクリエーションの充実とこれを通じた市の活性化に努める」との目標を立て、スポーツ活動体制の充実では、指導者の育成、確保に努め、有資格者を積極的に活用し、スポーツ活動の推進体制を強化することであるが、具体的にどのような施策を行うのか。

答 スポーツ振興計画について、関係機関との連携を取り、指導者の育成、確保、有資格者を積極的に活用し、スポーツ活動の推進体制を進めているところであるが、具体的には有資格者の新規獲得のため、市体育協会が実施している公認スポーツ指導員の資格取得の助成、県体育協会からの各種資格取得の募集案内を加盟団体に送付している。また、指

導者の活用として浜っ子人材育成銀行の登録を行い、市内に公表している。

日土小学校校舎

問 日土小学校校舎改修・改築工事がおこなわれているとの報道があったが、現在の進捗状況について伺いたい。

答 日土小学校校舎改修・改築工事については、今年度中の完成は困難であると判断せざるを得なくなった。工事がおこなわれている大きな要因は、取りかかりが少し遅かった。文化庁の指導を仰ぎながら、全国的に見ても例のない木造校舎の改修工事を実施している関係から、部材の検証等に当初



日土小学校（西校舎）

予想していたより多くの時間を要したことである。改めて重要文化財指定の重さを思い知らされているところである。

新西校舎主体工事は予定どおり完成するが、工事全体の進捗率は約70%となる。突貫工事ではなく安心・安全な学校に改修するためには3カ月の工事延長となり、夏休みに引越越し、2学期新校舎で授業ができる見通しとなる。

介護保険

問 今年4月から変更となる要介護認定の基準について、伺いたい。

答 平成21年4月より要介護認定に対する全般的な見直しが行われることになった。特に要介護認定の適正化と認定の効率化を図るため、認定調査項目や要介護認定基準時間の見直し等を行うこととしている。

認定基準の見直しは、認定に地域差が出ているのを、もう一度要介護認定等基準と呼ばれる介護の時間を時間に換算する方式で審査する

という原則に戻すこと。1次判定に使われている調査データを新しい実態に即した内容にデータ更新することが大きな目的である。

当市では、今後ともコンピュータによる1次判定後の保健・医療・福祉の専門家による介護認定審査会の2次判定を慎重に行い、段階を踏まえ、実態に即した公平、適切な介護認定を進めていきたいと考えている。

問 介護従事者の処遇改善を目的とした報酬引き上げは、介護従事者の処遇改善となるのか、伺いたい。

答 今回の介護報酬の引き上げは、過酷な労働環境と言われる介護の場で働く方に対し、給与を始めとした諸々の処遇改善を行うことを目的として介護報酬を引き上げるものである。

しかしながら、実際の事業所レベルでは介護報酬の引き上げ改定は、人員の配置や書類整備などの算定条件が厳しく、加算算定できる報酬が少ないのが現状である。従事者へどのような形で対応されるかについては、今回の引き上げを含め介護報酬

全額が介護事業者へ直接支払われるため、介護従事者へどのような形で、どれだけ反映されているかを把握することは保険者としては困難なものである。

今回の引き上げ方針にかかわらず、当市の介護従事者の処遇改善は、働く方、また介護を受ける方にとっても関心の深い事案である。県などとも連絡を取り合い、適正なものになるよう保険者の立場で見守っていきたいと考えている。

妊婦健康診査

問 今国会で妊婦健康診査が14回まで公費負担となるようであるが、当市では昨年4月より公費負担14回を市独自で取り組み、四国で最初に実施し、さらに前期と後期の2回、エコー検診まで実施した。今回、政府発表の全14回の公費負担が実行されると、当市の取り組みはどのようなものか。

答 当市では、平成20年度より妊婦健康診査の健診料の一部の公費負担を14回に拡大した。特に超音波検診を2

回取り入れており、その受診券はほぼ100%の人が利用されている。

平成21年度においても、14回の公費負担を予定しているが、議員指摘のように国から妊婦健康診査臨時特例交付金の通知が出ている。そのため愛媛県下全市町が一された方法で当市と同様に、14回の妊婦健康診査を補助し、そのうち9回分については1回4千円を補助することを検討している。これを受け、当市は4月1日以降、妊婦一人に対する公費負担額を4万5千680円から5万8千710円に増額し、さらに妊婦健康診料の負担を軽減していくことにしている。

プレミアム付商品券

問 国から定額給付金が給付されるが、市としても、市商工会議所や商店街、その他関係ビジネス団体と相談、提携して、消費を促すイベントの開催、それも市民の皆さんが生活に直接役立つ催し物を計画、実施することが必要ではないか。

国から定額給付金が給付されるが、市としても、市商工会議所や商店街、その他関係ビジネス団体と相談、提携して、消費を促すイベントの開催、それも市民の皆さんが生活に直接役立つ催し物を計画、実施することが必要ではないか。

答

全国では、この定額給付金の交付に合わせいろいろな取り組みが予定され、例えば1割増しのプレミアム商品券の発行や消費拡大セール等、消費に結びつく対策が商店街や商工関係団体等を始め行政も支援するところもあるようである。

世界的な金融危機に端を発する急速な景気の減速に伴う不況の波が県内にも浸透しつつあり、徐々に当市経済にも影響が出るものと思われ、商店街を始めとする商工業や地場産業の衰退が懸念され、大変憂慮している。

そのような中での今回の定額給付金の交付は、地域経済にとって大きく貢献できるものと期待しており、商工関係団体からの打診等もあり、市としても、さらに市内で個人消費を促すよう、プレミアム商品券の発行に係る支援策を実施するため準備中であり、最終日に提案する予定である。

新過疎法

問

21年度末で期限切れとなる現行過疎法の後、過疎地

域自立促進協議会で新規立法を求められ、「元気な地域づくりの実現に向けて」としてまとめた提言書について、伺いたい。

答

平成21年度末で過疎法の期限を迎えることを踏まえ、昨年6月に県下17市町で「愛媛県内過疎地域の集落実態調査に関する研究会」を立ち上げ、集落の人口、世帯数、生活環境、産業構造、集落の実態を踏まえた必要施策等を協議し、11月に「元気な地域づくりの実現に向けて」という新過疎法への提言書をまとめ、愛媛県に提出したところである。

新法制定に向けたポイントとしては、「国家的課題と整合性のとれた仕組みづくり」、「地域指定要件」、「広域的取り組みの強化」を掲げている。

今後、過疎地域が果たしている多面的、公共的機能を維持していくためには、引き続き過疎地域の振興を図り、そこに暮らす人々の生活を支えていくことは重要であると認識しており、国、県等関係機関に対し、新法制定を強く要請していきたい。

環境美化

問

「ごみポイ捨て禁止条例」の制定等、環境の美化に関する市としての取り組みについて伺いたい。

答

21世紀は環境の時代と言われていて。当市においても、昨年策定した「八幡浜市地域省エネルギービジョン」や「八幡浜市地球温暖化対策実行計画」の推進により地球環境の保全に向けた取り組みを実施しているところである。

環境保全のキーワードは、「市民一人一人が自分で何ができるかを考え、さらに行動に移すことが不可欠である」と考えている。市民による環境美化活動の現状は、職域、学校、



地区公民館等を中心として、河川はもとより道路、海岸などの清掃等幅広いボランティア活動をいただいております、大変感謝をしています。

一方、ごく一部の不心得者による不法投棄が後を絶たないという現実もあり、その対策に苦慮しているのも事実である。

不法投棄のひどい場所においては、土地管理者の了解を得て、立て看板の設置あるいは移動式監視カメラを設置し、対策を講じている。

市広報による定期的なアピールを通して、環境美化に対する市民意識の啓発はもとより、ごみと省エネルギー問題の集いの開催や、注意喚起を柱とした「ごみのポイ捨て禁止条例」の制定について今後前向きに検討していきたい。

千丈川流域のヨシ対策

問

千丈川流域に自生するヨシの除去対策について、河川の管理は愛媛県の管理下にあるが、このままにしておくことは根をおろし、群生していくことは明らかである。環境保

護も大切であるが、河川の氾濫等を防ぐためにも適当な除去も必要ではないか。

答

千丈川の管理者である愛媛県と協議を行ったところ、指摘の千丈保育所前から新開町住宅前のヨシの生い茂っている区間については、河川の治水を重視して、5月末の工期で河床掘削工事を発注しているとの回答を得た。

特に、千丈保育所の前付近は鯉のぼりの時期までに工事の準備として除草をしてもらえるようお願いしている。

今後、川辺に密生するヨシの対応については、治水を優先しつつ、自然環境保護を念頭に入れ、地元ボランティア団体などの協力を得ながら管理者に要望していきたいと考えている。



ヨシが取り除かれた千丈川

委員会のびいき

今定例会に提出され3常任委員会に付託された議案37件についての審査が行われました。その主な内容は次のとおりです。

総務

▼国民健康保険事業特別会計 予算（検診事業補助金）

問 この補助金は、国民健康保険加入者が人間ドックを受けられた時、そのかかった経費の一部を補助するものであるが、補助対象となる医療機関は市立八幡浜総合病院に限定されている。当市の国民健康保険被保険者であるので、市立八幡浜総合病院に限定しているのは、理解もするが、市民の方には、過去に市外の医療機関で人間ドックを受けた方もおられ、過去の受診データがあるという点で、継続して、そちらに掛かっている方もかなりおられる。そこで、市外の医療機関も補助の対象にするなど、補助対象を拡大する考えはないか。

答 病気の予防、早期発見、早期治療ということについて

ては、昨年4月より各保険者に義務付けられた特定検診、保健指導の具体化に向け、特定健康診査等実施計画を策定し、市としても、より多くの方の受診をお願いしているところである。現在の当市の受診率は30%程度であるが、5年後の最終段階では65%を目標にしているところである。

指摘の補助対象となる医療機関の拡大等については、費用の問題、また保険料の問題にも関わってくるので、国民健康保険運営協議会等で意見を聞く必要があるが、今後の検討課題とさせていただきます。

民生文教

▼一般会計予算（体育館地震補強工事）

問 体育館の耐震補強工事とはどのような形で行われるのか。

答 M字型等の鉄製プレスを横にはめ込むことによる補強や、



鉄製プレス

壁を増設することでの補強あるいは、柱の後ろからさらに柱のようなもので補強するピタコラム工法等がある。

問 校舎・体育館が、住民の避難場所にもなることを想定したとき、水の確保など災害後の対策についてはどうなっているか。

答 保内中学校では、災害時に雨水を水洗トイレに使用出来るよう、平成18年度の下水道引き込み工事の際、浄化槽をそのまま残し、下水道課が災害時のトイレを設置する際に使用できるようにしている。これからどんどん耐震化を進める中で、すべてが出来るかどうかは分からないが、費用がかからない部分において、災害時に何が出来るかを他の部署とも連携し考えていきたい。

産業建設

▼一般会計予算（改良住宅管 理費）

問 市営住宅の入居前の修繕は、状況によって違ってくると思うが、どのような基準を設けているのか。

答 入居者募集をする前には、自然劣化の場合を除き、破損箇所等の修繕をしている。基準は、第三者あるいは入居者が見て、入居可能な状態を維持していることである。修繕内容は前入居者の入居期間で異なり、数年で退去された部屋は畳替え、ふすま替え、炊事場の清掃等の簡易な修繕で済む場合もあるが、平均で50万円から60万円の修繕費が必要であり、破損がひどい時は100万円を超える場合もある。



住宅修繕

2月臨時会で決まった主なこと

- ◎ 専決処分の報告（市道宮内川東線事故の相手方との和解及び損害賠償の額の決定）
- ◎ 八幡浜市地域活性化基金条例の制定
- ◎ 平成20年度八幡浜市一般会計補正予算（第5号）
 - 4億7千946万5千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ21.2億2千797万3千円とする
- ◎ 平成20年度八幡浜市駐車場

問 例えば、ドアの錆の修繕であるとか、外観の修繕は、どのような基準を設けているのか。

答 人命に係わるような手摺の腐食、外壁のひび割れ、また、雨漏り等の生活に支障をきたす場合については修繕を行うが、それ以外の見栄えに関する修繕は、予算の範囲内で、その破損状況等から判断している。

事業特別会計補正予算（第1号）

2千300万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ1億2千238万1千円とする

- ◎ 副議長の選挙
 - 魚崎 清 則
- ◎ 議会運営委員会委員の補充
 - 魚崎 清 則

議員定数問題特別委員会委員長報告(原文掲載)

議員定数問題特別委員会の報告をいたします。

当市議会におきましては、平成17年3月28日の新八幡浜市誕生以降も、市民生活や福祉の向上、市政の発展を願いつつ、行財政改革や議会改革等に積極的に、かつ真剣に取り組んできております。

人口減少や三位一体改革、さらには100年に一度と言われております、まさに未曾有の経済危機に当面している今日、適正な議員定数について議論すべく、議員定数問題特別委員会を昨年12月議会において設置し、時間的な制約のある中、4回の委員会を開催し議論を重ねた結果、次回の市議会議員選挙から、条例定数の23名から4名削減して19名とすることに決定されました。

委員会にて協議された事項等につきまして、簡潔にご報告させていただきます。

平成20年12月8日の第1回の委員会では、正副委員長の互選が行われました。

続いて、12月17日の第2回委員会、及び年が明けて1月15日の第3回委員会におきましては、愛媛県下の各市議会の状況、予算額や報酬、人口や面積、法定数や議員1人あ

たりの人口、さらには政務調査費や行政視察の経費等について資料を取り寄せ、協議いたしました。

さらには、全国の類似団体にいたしました。

財政事情や市民感情、他市議会の動向をみると、定数削減はやむを得ない。

合併前の市議会の定数は19名であり市議会活動に支障はなかった。

過去においても、定数削減について協議し、その都度、定数が削減されてきたが、適正な数値を決める判断基準は何なのか。

市民の声を反映する議会議員が削減されれば、市民が議員になりにくくなるのではないか。

などの意見や議論のなかで、第4回目の2月16日委員会において出席議員による投票の結果、決定されたものであります。

何と云っても、八幡浜市民の声を最大限に尊重させていただけた結果であろうと思っております。

この4名削減の19名の定数となりまして、おおよその数字ではあります。

4年間で約1億円の経費削減に繋がる

と想定されます。

と想定されます。

当市議会としては、今後も、理事者とは車の両輪としての役目を果たしながら、常に市民生活に目線をあわせた活動が求められることはいずれもありません。

また、種々議論するなかにおいて、「行財政改革の取り組み」は議会のみでなく、市全体の非常に重要な問題であり、市当局におかれましては、今後も最重要施策として取り組んでいただき、更なる市政発展のために、ともに努力されたい。との意見もだされたことも報告いたします。

最後に、議員定数問題特別委員会にて、真剣に議論する過程において協議された行財政改革及び議会改革といったテーマについては、今後も八幡浜市議会として取り組んでいくべきであることを提言して、特別委員会の報告を終わります。



議場

3月定例会で決まった主なこと

◎人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること
菊池鉄矢氏(再任)

◎八幡浜市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定

◎八幡浜市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例

◎八幡浜市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の制定

◎八幡浜市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例

◎八幡浜市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定

◎八幡浜市介護保険条例の一部を改正する条例の制定

◎八幡浜市簡易水道条例の一部を改正する条例の制定

◎平成20年度八幡浜市一般会計補正予算(第6号)

5億860万5千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ207億1千936万8千円とする

◎平成20年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

1億877万4千円を減

額し、歳入歳出の総額をそれぞれ54億7千34万7千円とする

◎平成20年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

5千474万2千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ4億8千997万1千円とする

◎平成20年度八幡浜市老人保健特別会計補正予算(第2号)

1億7千91万8千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ5億2千450万3千円とする

◎平成20年度八幡浜市介護保険特別会計補正予算(第4号)

373万6千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ33億5千189万6千円とする

◎平成20年度八幡浜市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)

200万円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ3千740万6千円とする

◎平成20年度八幡浜市駐車場事業特別会計補正予算(第2号)

◎平成20年度八幡浜市簡易水

◎道事業特別会計補正予算(第3号)

580万6千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ8千990万8千円とする

◎平成20年度八幡浜市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

1億1千678万1千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ29億5千229万6千円とする

◎平成20年度八幡浜市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)

499万3千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ1億6千76万5千円とする

◎平成20年度八幡浜市小規模下水道事業特別会計補正予算(第1号)

30万1千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ4千317万4千円とする

◎平成20年度八幡浜市港湾整備事業特別会計補正予算(第1号)

4千990万8千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ1億6千18万5千円とする

◎平成20年度市立八幡浜総合病院事業会計補正予算(第3号)

収益的収入に61万8千円を追加し、38億8千80万7千円、収益的支出から2億5千897万8千円を減額し、45億5千115万3千円とする

資本的収入に2億8千240万円を追加し、5億7千56万1千円、資本的支出に2億7千242万2千円を追加し、6億5千621万3千円とする

◎平成21年度八幡浜市一般会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ172億4千490万円とする

◎平成21年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ54億7千751万7千円とする

◎平成21年度八幡浜市後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ5億5千248万7千円とする

◎平成21年度八幡浜市老人保健特別会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ4千879万3千円とする

◎平成21年度八幡浜市介護保険特別会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ35億3千135万4千円とする

◎平成21年度八幡浜市介護サービス事業特別会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ3千896万6千円とする

◎平成21年度八幡浜市日土財産区特別会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ77万3千円とする

◎平成21年度八幡浜市駐車場事業特別会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ9千879万1千円とする

◎平成21年度八幡浜市簡易水道事業特別会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ4千486万9千円とする

◎平成21年度八幡浜市公共下水道事業特別会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ1億4千976万8千円とする

◎平成21年度八幡浜市小規模下水道事業特別会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ6千233万5千円とする

◎平成21年度八幡浜市水産物地方卸売市場事業特別会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ2千151万2千円とする

◎平成21年度八幡浜市港湾整備事業特別会計予算

歳入歳出の総額をそれぞれ5千641万5千円とする

◎平成21年度八幡浜市水道事業会計予算

収益的支出を8億647万4千円、資本的支出を2億8千551万4千円とする

◎平成21年度市立八幡浜総合病院事業会計予算

収益的支出を42億3千971万5千円、資本的支出を3億2千742万8千円とする

◎八幡浜市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定

◎平成20年度八幡浜市一般会計補正予算(第7号) 6億8千113万4千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ214億50万2千円とする

◎平成20年度八幡浜市駐車場事業特別会計補正予算(第3号)

◎平成21年度八幡浜市一般会計補正予算(第1号) 2千万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ172億6千490万円とする

◎議員定数問題特別委員長報告 23名 ↓ 19名

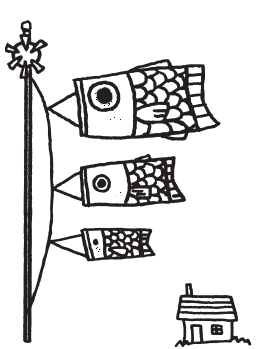
◎八幡浜市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定

◎国会議員の定数及び衆議院小選挙区制度の見直しを求める意見書の提出

◎八幡浜地区施設事務組合議会議員の補欠選挙 舛田 尚鶴

◎議員辞職の件 山本 儀夫

◎所管事務調査 議員の派遣



編集後記

「議会だより」第16号をお届けします。ゆつくり目を通してください。

「議会だより」について、ご意見をお願いします。 議会事務局 ☎223111